

編集後記

2011年4月の新団体発足から早6年。日建連は会長が交代し、新しい体制のもと週休二日の定着に向けて動き出します。

思い返すと、私が子供の頃は土曜日に半日授業があり銀行の窓口も開いていましたが、今ではどちらもお休みです。建設業においても、土日に休めることが当たり前になるよう、会員企業と一緒に取り組んでいきたいと思ます。(I)

今号のけんせつ小町は北海道札幌市で取材を行いました。3月の取材ということもあり雪と強風に見舞われ、ビニール傘が壊れるといった雪国らしい歓迎を受けました。札幌の人は傘ではなくフードを被る人が多いんです。なんでも道が凍っているため両手でバランスを取りながら歩くためだそう。そんな札幌市民の生活の中心地である札幌駅とすすきの駅を直線で繋ぐ札幌駅前通地下通路は、約1,900mあり日本一の直線距離を誇る地下通路です。天候に左右されずに街を移動できるようにしたこの通路のおかげで傘を持つ人が減ったのかもしれないね。(K)

発行 一般社団法人 日本建設業連合会
〒104-0032
東京都中央区八丁堀2-5-1
東京建設会館
TEL 03-3553-4095
FAX 03-3551-4954
URL <http://www.nikkenren.com/>

発行者 有賀長郎
企画・編集 一般社団法人 日本建設業連合会
広報委員会
制作 株式会社Kプロビジョン
デザイン 株式会社コンセント
印刷 株式会社耕文社

©2017 日本建設業連合会
「ACe建設業界」は日本建設業連合会の登録商標です

年間購読料：4,800円(送料込)

日建協統一土曜閉所運動

— 土曜日を当たり前前に休める
建設産業をめざして —



日本建設産業職員労働組合協議会（日建協）では、建設産業で働く多くの人に「休むことの大切さ」に気づいてもらうことで時短意識の高揚を図るとともに、作業所を閉所することで「心と体の休息日」とすることを目的に、毎年6月と11月の第2土曜日に統一土曜閉所運動を展開しています。

今般、政府は罰則付き時間外労働の上限規制の導入など長時間労働の是正にむけた取組みを打ち出しており、日建連においても「週休二日推進本部」が設置されるなど、週休2日の定着にむけた動きが加速しています。

日建協は、このような建設産業の変革を踏まえつつ、長時間労働解消のため統一土曜閉所運動をより一層推進していきます。建設産業に携わる組織の皆さまにおかれましては、1人でも多く、1日でも多く、建設産業で働くものが土曜日を休めるよう、まずは6月と11月を土曜閉所強化月間と位置付け、建設産業全体で土曜閉所に取り組んでいただくと幸いです。

皆さまのご理解を賜るとともに、統一土曜閉所運動へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

※統一土曜閉所運動ポスターの電子版は日建協のホームページからダウンロードができます。
<http://nikkenkyo.jp/archives/7781>

【お問い合わせ】

日本建設産業職員労働組合協議会（日建協）

TEL 03-5285-3870

Mail info@nikkenkyo.jp

お
知
ら
せ